

アルツハイマー型認知症 の早期発見のために

認知症に関するご相談は

西市民病院
リエゾンチーム

この冊子は入院患者さんの認知症の早期発見や
対応の助けとなるように作成されました。

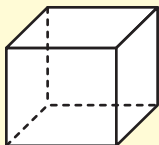
2012.3

簡易スクリーニング検査

せん妄や意識障害がないときに実施してください。

<p>これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますからよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく)</p> <p>1: a) 桜 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車</p>	a	0 1
	b	0 1
	c	0 1
<p>今日は何年の何月何日ですか。 何曜日ですか。</p>	年	0 1
	月	0 1
	日	0 1
	曜日	0 1
<p>先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合は以下のヒントを与えて正解であれば1点)</p> <p>a) 植物 b) 動物 c) 乗り物</p>	a	0 1 2
	b	0 1 2
	c	0 1 2

立方体の模写 : 立方体を正しく描ける…2点



正確ではないが、一部描ける…1点

全く描けない…0点

* 15点満点で12点以下の場合、
アルツハイマー型認知症が疑われる。

OLD (Observation List for early signs of Dementia)

1. いつも日にちを忘れている。
2. 少し前のことをしばしば忘れる。
3. 最近聞いた話を繰り返すことができない。
4. 同じことを言うことがしばしばある。
5. いつも同じ話を繰り返す。
6. 特定の単語や言葉が出てこないことがしばしばある。
7. 話の脈絡をすぐに失う。
8. 質問を理解していないことが答えからわかる。
9. 会話を理解することがかなり困難。
10. 時間の観念がない。
11. 話のつじつまを合わせようとする。
12. 家族に依存する様子がある
(本人に質問すると家族の方を向くなど)。

* 4項目あればアルツハイマー型認知症を疑う。

認知症治療薬

<適 応> アルツハイマー型認知症

<効 能> 認知症症状の進行抑制 (完全ではない)

<主な副作用>

- ドネペジル (アリセプト)、ガランタミン (レミニール)
・・・悪心、嘔吐、下痢、徐脈、興奮など
- リバスチグミン (リバスタッチ)
・・・悪心、嘔吐、下痢、興奮、接触性皮膚炎など
- メマンチン (メマリー)
・・・めまい、便秘、体重減少、頭痛など

<注 意>

- *ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミンは作用機序が同じため併用できない
- *リバスチグミンは貼布剤
- *ガランタミン、リバスチグミンは軽度、中等度に限る
- *メマンチンは中等度、高度に限る

周辺症状への対応の基本

- * 症状は、中核症状（記憶障害、見当識障害など）と周辺症状（BPSD）に分けられる。
- * 周辺症状は中核症状を基盤に、不安やストレスが蓄積されて誘発される。

妄想「財布を盗まれた」「監視されている」

- 訴えをよく聞き、否定したり説得したりしない
- 物盗られ妄想の場合は、まずは一緒にさがしてみる
- 日ごろから、ものをしまう場所などを観察しておく
- なるべく本人自身が探し出せるよう誘導する
- 混乱が強い場合には、代替品を用意しておき渡す
- 監視されているという妄想の場合、カーテンなどで仕切る

徘徊「家に帰る」「会社に行く」

- 動き回ったり、外へ出たがるのを直接止めようとししない
- 「一服しませんか」などと声をかけ、お茶での休憩を誘ってみる
- 会社に行くと言い張る時は「今日はお休みです」などと言い安心させる
- どうしても出て行く場合には、病棟内を一緒に歩く
- 帰ってきても責めず、ねぎらいの言葉をかける

攻撃的言動

- 暴言・暴力にあった時、興奮して力で押さえつけようとししない
- 身の危険を感じた時には、その場を離れ間をおく
- 原因や誘因を考えてみて、人や環境を変えてみる
- 体調が悪いためであるときは、改善を急ぐ
- まわりにある刃物などの危険物は遠ざけておく

参考文献)「これでわかる認知症診療ーかかりつけ医と研修医のためにー」
浦上克哉 (南江堂)

Hopman-Rock M et al. Int J Geriatr J Psychiatry
2001; 16: 406

「臨床認知症学入門」博野信次著 (金芳堂)